

- ② 地層の傾きや重なりに注意しながら地層を書き入れる。
- ③ 地層の特徴としては、地層の色や地層の中の模様、水分を含んでいる地層があれば書き入れておく。

- ④ ⑧⑨のような目立つ地層を追いかけて、地層の広がりを観察する。

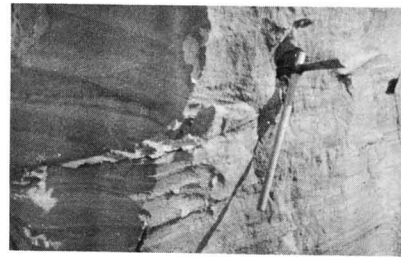
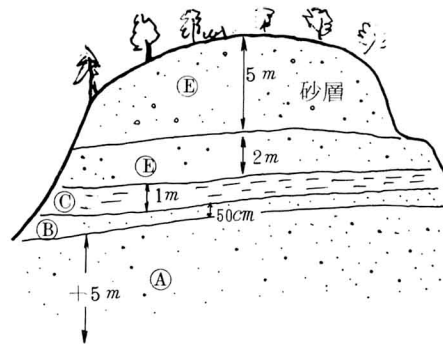
- (3) 地層に近づいて観察する。

⑧は淡青灰色の砂層で、注意して観察すること、小さな円レキが並んで入っています。また、斜交する模様が観察されます。この模様は斜交葉理（1枚の地層の中の粒子の配列）と言われ、水際でできます。

⑨は層理のよく見られる砂の層で水分を含んでしめっています。

⑩は青灰色の凝灰質粘土層です。

⑪⑫は中粒の砂層からできています。



2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所

藤見橋から 100 m 下流

- (2) 川の流れや川原の様子を土手の上から観察する。

- ① 川全体をながめ、土手、水の流れ、はんらん原などをスケッチする。
- ② 水の流れが曲がっている付近で小さな川原ができているが、それは、流れの内側か、外側か。